

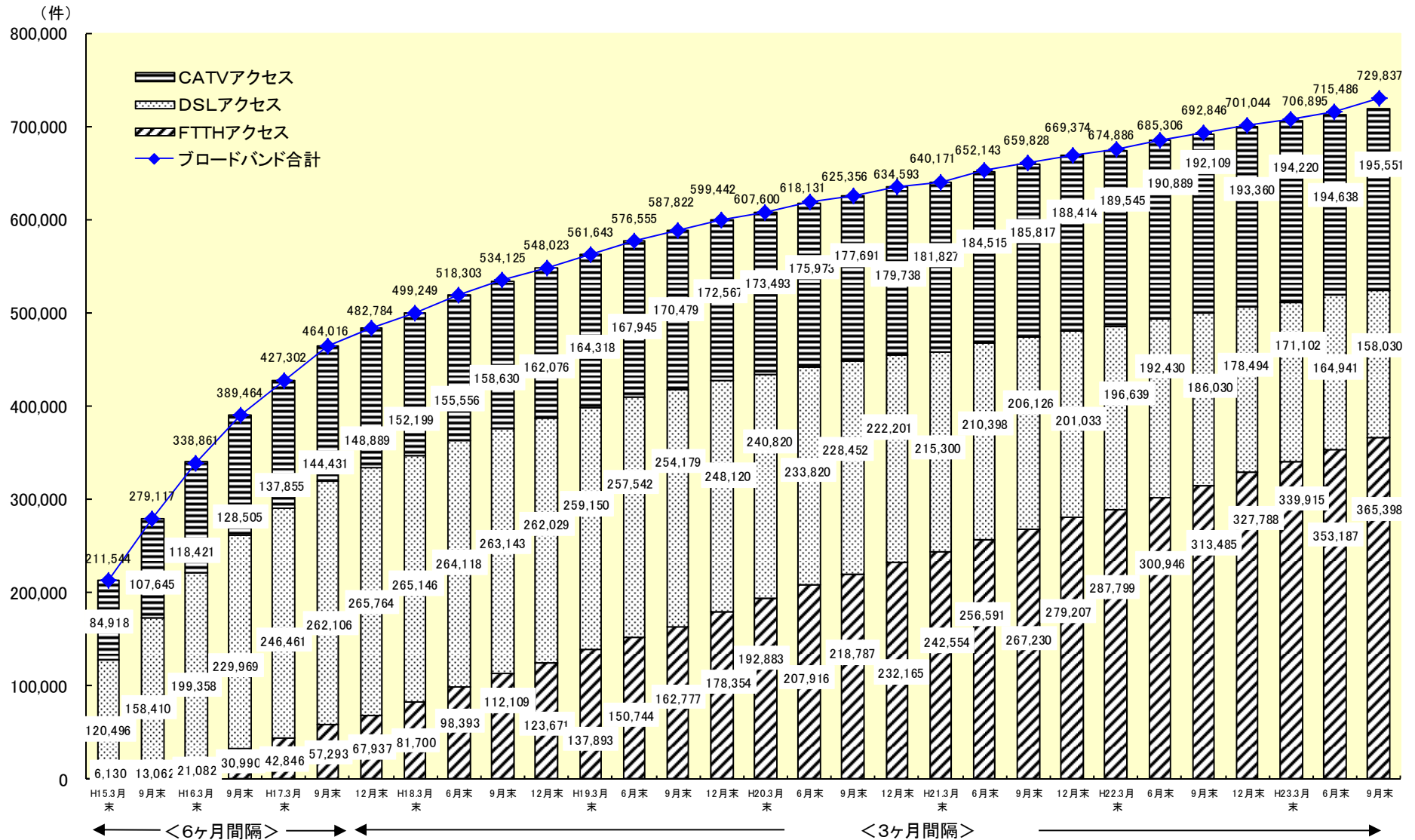
北陸3県におけるブロードバンドサービスの動向 (平成23年9月末)

平成23年12月20日
総務省 北陸総合通信局

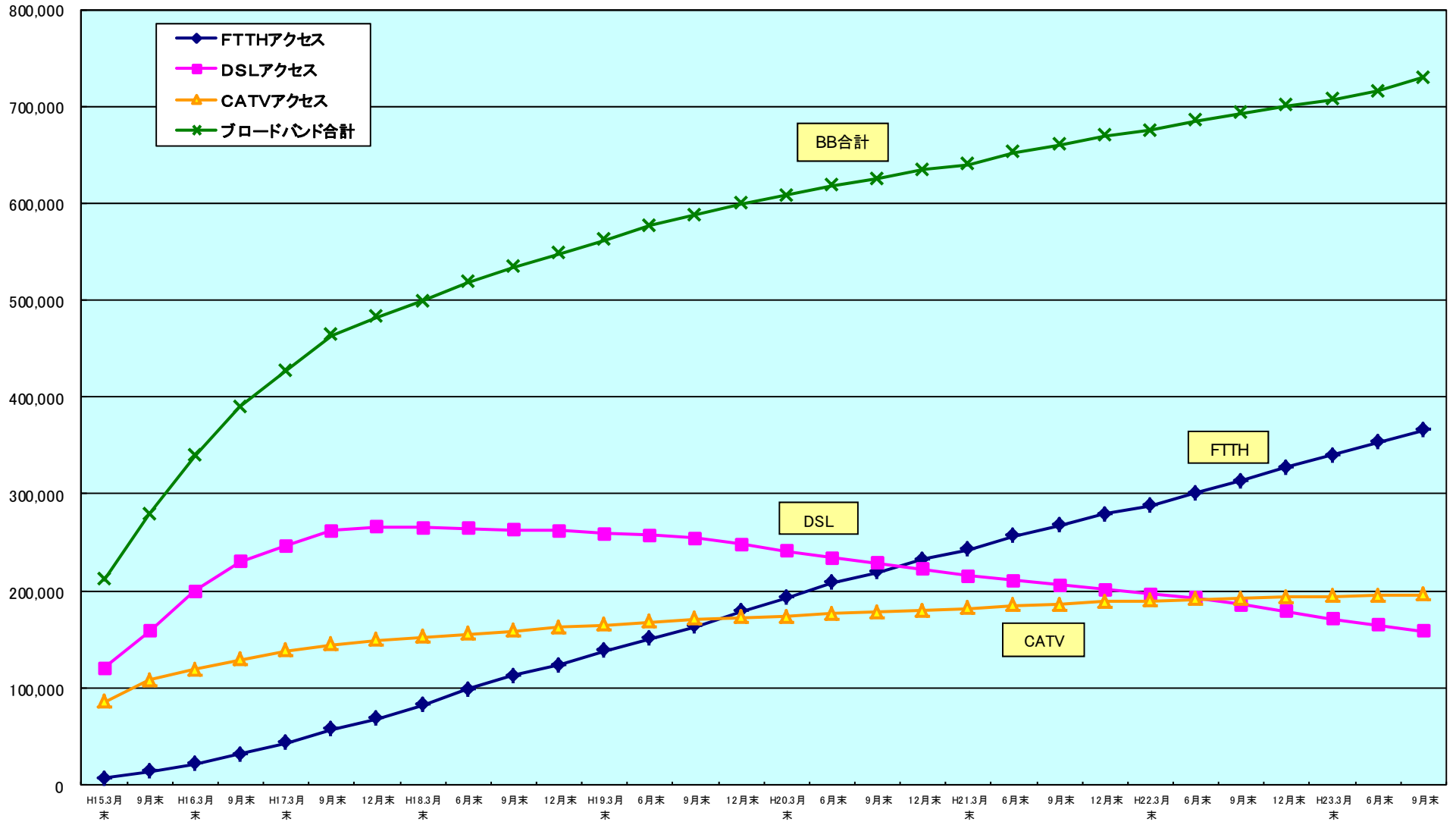
北陸3県におけるブロードバンドサービス別契約数の推移1-2

○平成23年9月末の契約数は、前年同期比で約3.7万件増加(+5.3%)し、約73.0万件、世帯普及率は66.3%となる。

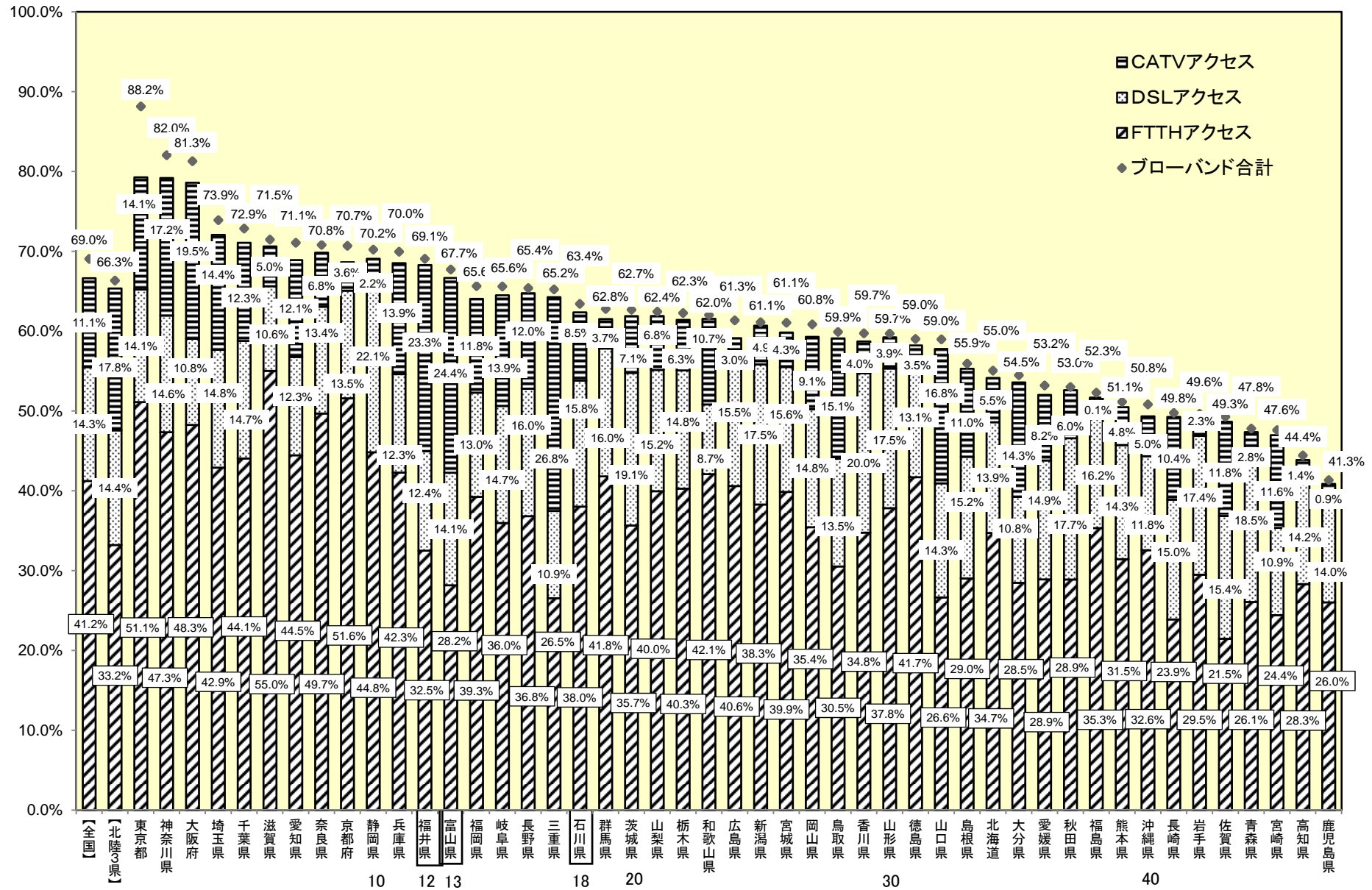
○各サービスの推移は、前年同期比でFTTHが約5.2万件(+16.6%)、CATVが約0.3万件(+1.8%)の増加、一方DSLは約2.8万件(-15.1%)の減少となる。



北陸3県におけるブロードバンドサービス別契約数の推移1-3



都道府県別ブロードバンド世帯普及率



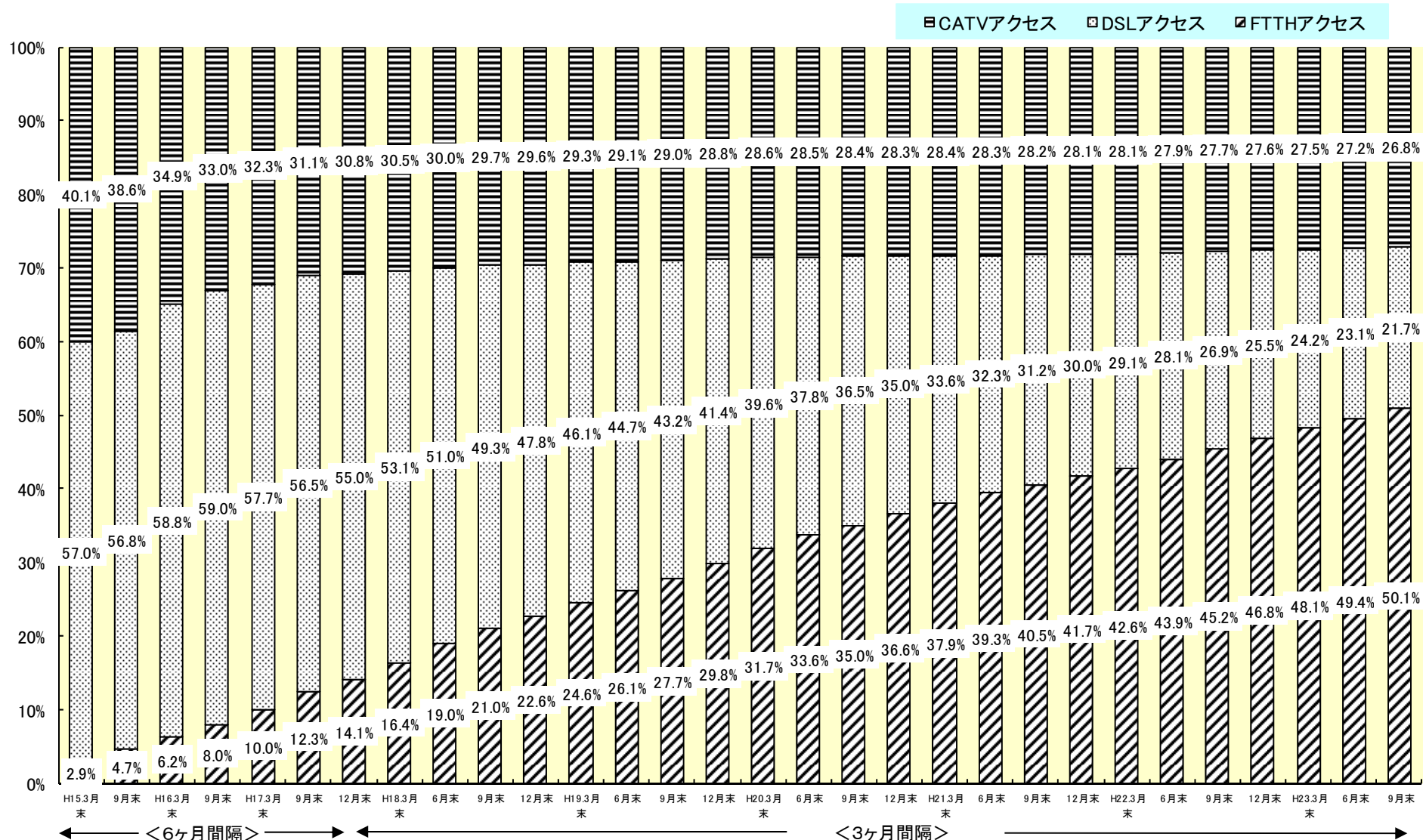
注1) 県名下の数字は全国順位

注2) ブロードバンド合計値には、FWAアクセスも含まれていますが、各都道府県における世帯普及率が1%に満たないため、数値の記載を省略しています。

注3) 世帯普及率の算出には、平成22年度国勢調査(H22.10.1)の世帯数を使用しています。

北陸3県におけるブロードバンドサービス別契約数構成の推移

○サービス別シェアの前期比は、FTTHが0.7ポイント増加。一方でCATVが0.4ポイント、DSLが1.4ポイント減少。
 ○前年同期比では、FTTHが4.9ポイント増加。一方でCATVが0.9ポイント、DSLが5.2ポイント減少。



都道府県別ブロードバンドサービス別契約数の構成

○FTTHアクセスの比率が高いのは、滋賀77.0%、京都73.0%、徳島70.7%
 ○ODSLアクセスの比率が高いのは、青森38.6%、岩手35.0%、鹿児島33.8%
 ○CATVアクセスの比率が高いのは、三重41.1%、富山36.0%、福井33.8%

